

中橋 友子 議員

新年度予算編成に 当たって



問

2007年度予算は骨格となるが、厳しい経済情勢の中で、町民の暮らしを守り、無駄なく健全な予算になるよう次の点を伺う。

①町民の暮らしの現状は、年収300万円以下が62・8%、年金収入だけでは148万円以下が71・2%、町内雇用の44%が非正規雇用である。この厳しい状況の上に今年6月、総額約1億5千万円の庶民大増税が強行され、医療、介護、障害者福祉に係る負担が増やされた。現状の認識と、今後の対策をどのようにとられるのか。

④国の地方財政削減の中止を求め、財源確保の取り組み強化を。

町長

①今年度の国民健康保険税の見直しでは、町民の負担が極力増えない視点に心がけている。町民全体の公平の原則に立ち、負担が極端に増え生活に影響を及ぼさないよう、努めた

②町民のニーズも時代の変化とともに、常に変化し、多種多様化、高度化している。こうしたニーズを捉えながら、魅力あるまちづくりに全力で取り組んでいる。

③現在、進めている事務事は、
現在、「新町まちづくり計画」を基本に、町の課題解決に向けて優先度の高い課題から取り組んでいる。常に町民の声に耳を傾けることが大切であり、その姿勢はこれからも変わらない。

業は、合併協議で、両町の施策の違いを協議し、財政的視点や各種制度の均衡を十分に検討し、合意を見たことを理解を頂きたい。
④これからも北海道町村会あるいは全国町村会の一員として、国に対し地方財政の確立について要望活動を強めていきたい。

高齢者になっても 安心して暮らせる まちづくりを

問

「孤独死」が社会問題になってきているが、札幌内でも不幸な事態が生じている。以前はヤクルト配達で声かけ事業を実施していたが、廃止されている。何らかの対策が必要であり次の点を伺う。

①現状の掌握について。
②「お元気ですか訪問事業」の実施状況について。
③「協働のまちづくり支援事業」などで孤独死対策の検討を。

町長

①孤独死に対しては法的には明確な定義はな



(元気に活動する高齢者)

く、統計はないが、幕別町では、平成18年に、死後数日たつて発見された方が1名いた。
②65歳以上の一人暮らしの高齢者を対象に、2週間に1回程度の訪問をし、11月末の時点では71名の方が利

用している。
③支援事業のメニューの拡大も、順次進め、多くの方から意見や提言を頂き、先進地等の事例の調査や研究に努め、積極的にメニューの拡大を図りたい。